平成25年１月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月13日

上 場 会 社 名	オーエス株式会社	上場取引所	大
コ ー ド 番 号	9637	URL	http://www.osgroup.co.jp
代　　表　　者	(役職名)　取締役社長	(氏名)　山内芳樹	
問合せ先責任者	(役職名)　経理部長	(氏名)　矢崎秀成	(TEL)06-6361-3554
四半期報告書提出予定日	平成24年12月14日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年１月期第３四半期の連結業績（平成24年２月１日～平成24年10月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年１月期第３四半期	5,146	△3.5	446	△4.6	309	△2.2	157	△11.9
24年１月期第３四半期	5,333	△6.5	467	△19.1	316	△20.9	179	△23.3

(注) 包括利益　25年１月期第３四半期　173百万円(　8.4%)　24年１月期第３四半期　160百万円(　―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年１月期第３四半期	9.96	―
24年１月期第３四半期	11.31	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年１月期第３四半期	30,208	8,328	27.6
24年１月期	30,025	8,234	27.4

(参考) 自己資本　25年１月期第３四半期　8,328百万円　　24年１月期　8,234百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年１月期	―	2.50	―	2.50	5.00
25年１月期	―	2.50	―		
25年１月期(予想)				2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年１月期の連結業績予想（平成24年２月１日～平成25年１月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,420	21.3	740	35.1	555	59.7	300	12.5	18.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年１月期３Ｑ	16,000,000株	24年１月期	16,000,000株
②　期末自己株式数	25年１月期３Ｑ	146,585株	24年１月期	145,246株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年１月期３Ｑ	15,853,822株	24年１月期３Ｑ	15,856,210株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、添付資料３ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
（４）追加情報 ……3
３．四半期連結財務諸表 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
四半期連結損益計算書 ……6
四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）継続企業の前提に関する注記 ……8
（４）セグメント情報等 ……8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成24年２月１日～平成24年10月31日）におけるわが国経済は、世界景気の減速等を背景として、回復傾向から一転して弱めの動きで推移いたしました。

このような経済環境のなかで、当社グループは持続可能な成長戦略を実践するべく、収益基盤の強化に努めてまいりました。

当第３四半期連結累計期間の成績は、売上高5,146,429千円と前年同期に比べ186,960千円（3.5％）の減収となり、営業利益は446,128千円と前年同期に比べ21,445千円の減益、経常利益は309,279千円と前年同期に比べ7,098千円の減益、四半期純利益は157,926千円と前年同期に比べ21,348千円の減益となりました。

経営成績をセグメント別で見ると次のとおりであります。

（映画事業）

映画業界は、一部邦画にヒット作品が生まれたものの、洋画作品の全体的な不振傾向により、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、映画興行事業におきましては、邦画作品では「テルマエ・ロマエ」「ＢＲＡＶＥ ＨＥＡＲＴＳ 海猿」「踊る大捜査線 ＴＨＥ ＦＩＮＡＬ 新たなる希望」、洋画作品では「アメイジング・スパイダーマン」「バイオハザードＶ：リトリビューション」「アベンジャーズ」などの話題作品を上映いたしました。

映画以外のコンテンツといたしましては、「ＯＳシネマズミント神戸」におきまして、宝塚歌劇団トップスターの退団公演の生中継や、人気ロックバンドのライブ公演の様子を記録したドキュメンタリー映像の上映を実施し、デジタルシネマシステムを活かした新たなコンテンツの提供に取り組んでまいりました。

また、社会貢献活動といたしまして、「阪急阪神　未来のゆめ・まちプロジェクト」に引き続き参画し、特別上映会の実施を通じて心豊かな地域文化の確立に取り組んでまいりました。

売上高は1,790,857千円と前年同期に比べ65,183千円（3.5％）の減収となりましたが、セグメント利益（営業利益）は110,412千円と前年同期に比べ28,931千円の増益となりました。

（不動産賃貸・販売事業）

不動産賃貸業界は、東京・大阪ビジネス地区ともに、空室率は改善傾向が見られるものの依然高い状態にあり、賃料相場の下落傾向が継続する厳しい状況となっております。

このような状況のなか、不動産賃貸事業におきましては、各ビルの安全維持と資産価値向上に取り組んでまいりました。

当第３四半期連結累計期間末における保有ビルの稼働率は99.2％と高稼働を維持したものの、賃料水準につきましては改善の兆しが見られず、厳しい状況で推移いたしました。

不動産販売事業におきましては、分譲マンションの売上を計上しております。

大阪府守口市の分譲マンション「プレージア大日」は、本年12月の竣工、完売に向けて順調に進捗しております。また、尼崎市東園田町にて新たに計画中の分譲マンションにつきましては、共同事業者とともに、来年１月の販売開始に向けて鋭意取り組んでおります。

売上高は2,220,109千円と前年同期に比べ94,017千円（4.1％）の減収となり、セグメント利益（営業利益）は743,536千円と前年同期に比べ109,722千円の減益となりました。

なお、不動産販売事業に係る広告宣伝費等の先行費用が売上原価に含まれております。

（ホテル事業）

大阪のホテル業界は、国内旅行やビジネス利用の宿泊需要を中心に訪日旅行者も戻りつつあり、回復傾向で推移いたしました。

「梅田ＯＳホテル」におきましては、一部客室の改装を行い設備の充実を図ってまいりました。また、インターネット宿泊サイトにおいて、多彩な宿泊プランを提供して需要の喚起に努め、稼働率の向上に取り組んでまいりました。

売上高は475,153千円と前年同期に比べ2,724千円（0.6%）の増収となりましたが、改装による諸経費増の影響もあり、セグメント利益（営業利益）は45,870千円と前年同期に比べ1,451千円の減益となりました。

（飲食事業）

飲食業界は、消費者の食の安全性に対する関心が一層高まるなか、雇用や所得環境の悪化懸念により節約志向が依然根強く、厳しい事業環境が継続しております。

このような状況のなか、飲食事業におきましては、既存店舗の業態変更を行い、収益基盤の強化を図るとともに、各店舗において諸経費の節減に留意し、収益力の向上に努めてまいりました。

売上高は282,065千円とほぼ前年同期並みとなりましたが、セグメント利益（営業利益）は16,179千円と前年同期に比べ11,372千円の増益となりました。

（その他事業）

アミューズメント業界は、個人消費の伸び悩みに加え、スマートフォンの普及によるゲームの多様化の影響を受けて厳しい状況となりました。

このような状況のなか、「ｎａｍｃｏ三宮店」のリニューアル工事を行い、競争力の強化を図ってまいりました。

売上高は378,243千円と前年同期に比べ30,105千円（7.4%）の減収となり、セグメント利益（営業利益）は56,514千円と前年同期に比べ5,554千円の減益となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は182,626千円の増加となりました。これは主に現金及び預金575,747千円及び有形固定資産382,788千円の減少がありましたが、販売用不動産1,012,061千円、投資有価証券60,661千円、売掛金32,367千円及び前払費用32,313千円の増加によるものであります。

負債につきましては88,753千円の増加となりました。これは主に長期借入金972,474千円の減少がありましたが、短期借入金886,587千円、未払法人税等128,613千円及び長期預り保証金67,766千円の増加によるものであります。

純資産につきましては93,872千円の増加となりました。これは主に利益剰余金78,655千円の増加によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年1月期の連結業績予想につきましては、概ね予想通りに推移しており、本資料の公表時点において、平成24年９月13日の第２四半期決算短信で発表しました通期業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年１月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年10月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,247,534	671,787
売掛金	192,145	224,513
販売用不動産	875,073	1,887,135
商品	6,889	6,710
貯蔵品	1,062	1,668
前払費用	83,759	116,073
繰延税金資産	41,745	60,364
その他	27,116	16,457
貸倒引当金	△5,299	△7,425
流動資産合計	2,470,028	2,977,284
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,788,665	22,832,016
減価償却累計額	△12,131,994	△12,525,955
建物及び構築物（純額）	10,656,671	10,306,061
機械装置及び運搬具	352,745	252,324
減価償却累計額	△186,229	△112,726
機械装置及び運搬具（純額）	166,516	139,598
工具、器具及び備品	767,627	756,901
減価償却累計額	△637,741	△644,016
工具、器具及び備品（純額）	129,886	112,885
土地	15,073,710	15,073,710
建設仮勘定	－	11,740
有形固定資産合計	26,026,783	25,643,995
無形固定資産		
ソフトウエア	47,332	33,861
その他	11,415	10,991
無形固定資産合計	58,747	44,852
投資その他の資産		
投資有価証券	278,948	339,610
長期前払費用	207,975	179,482
差入保証金	510,780	513,090
建設協力金	407,096	413,102
繰延税金資産	12,410	9,987
その他	26,303	65,545
投資その他の資産合計	1,443,514	1,520,818
固定資産合計	27,529,046	27,209,666
繰延資産		
社債発行費	26,424	21,174
繰延資産合計	26,424	21,174
資産合計	30,025,499	30,208,125

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年１月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年10月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	116,774	133,550
短期借入金	2,655,055	3,541,642
未払金	62,475	41,089
未払費用	263,202	237,516
未払法人税等	11,195	139,808
未払消費税等	57,592	29,838
賞与引当金	39,824	90,616
その他	374,614	369,858
流動負債合計	3,580,733	4,583,921
固定負債		
社債	1,700,000	1,700,000
長期借入金	10,292,668	9,320,194
長期預り保証金	2,236,352	2,304,118
繰延税金負債	1,365,950	1,341,361
再評価に係る繰延税金負債	2,420,920	2,420,920
退職給付引当金	194,734	209,598
固定負債合計	18,210,626	17,296,193
負債合計	21,791,360	21,880,114
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	800,000
資本剰余金	66,506	66,506
利益剰余金	4,067,586	4,146,242
自己株式	△91,138	△91,670
株主資本合計	4,842,954	4,921,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,700	32,448
土地再評価差額金	3,374,484	3,374,484
その他の包括利益累計額合計	3,391,184	3,406,932
純資産合計	8,234,138	8,328,011
負債純資産合計	30,025,499	30,208,125

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年２月１日 至 平成23年10月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年10月31日）
売上高	5,333,389	5,146,429
売上原価	4,190,019	4,081,592
売上総利益	1,143,369	1,064,836
一般管理費	675,795	618,707
営業利益	467,574	446,128
営業外収益		
受取利息	6,292	6,419
受取配当金	2,887	2,890
協賛金収入	3,047	3,047
その他	847	2,046
営業外収益合計	13,075	14,404
営業外費用		
支払利息	145,709	132,707
その他	18,561	18,545
営業外費用合計	164,271	151,252
経常利益	316,377	309,279
特別利益		
補助金収入	12,230	3,771
貸倒引当金戻入額	4,497	－
特別利益合計	16,727	3,771
特別損失		
固定資産除却損	42,164	38,319
固定資産圧縮損	12,230	3,771
固定資産売却損	22,041	－
特別損失合計	76,436	42,090
税金等調整前四半期純利益	256,668	270,960
法人税、住民税及び事業税	84,138	162,843
法人税等調整額	△6,745	△49,810
法人税等合計	77,392	113,033
少数株主損益調整前四半期純利益	179,275	157,926
四半期純利益	179,275	157,926

(四半期連結包括利益計算書)
(第３四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成23年２月１日 至 平成23年10月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成24年２月１日 至 平成24年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	179,275	157,926
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,059	15,748
その他の包括利益合計	△19,059	15,748
四半期包括利益	160,215	173,675
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160,215	173,675
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間(自 平成23年２月１日 至 平成23年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	映画事業	不動産賃貸・販売事業	ホテル事業	飲食事業	その他事業	計	調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額(注２)
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	1,856,040	2,314,127	472,429	282,443	408,349	5,333,389	―	5,333,389
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	―	137,586	―	―	―	137,586	△137,586	―
計	1,856,040	2,451,713	472,429	282,443	408,349	5,470,975	△137,586	5,333,389
セグメント利益	81,481	853,258	47,321	4,806	62,069	1,048,936	△581,362	467,574

（注）１．セグメント利益の調整額△581,362千円には、セグメント間取引消去△6,415千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△574,947千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間(自 平成24年２月１日 至 平成24年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	映画事業	不動産賃貸・販売事業	ホテル事業	飲食事業	その他事業	計	調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額(注２)
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	1,790,857	2,220,109	475,153	282,065	378,243	5,146,429	―	5,146,429
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	―	130,816	―	―	―	130,816	△130,816	―
計	1,790,857	2,350,926	475,153	282,065	378,243	5,277,245	△130,816	5,146,429
セグメント利益	110,412	743,536	45,870	16,179	56,514	972,512	△526,384	446,128

（注）１．セグメント利益の調整額△526,384千円には、セグメント間取引消去△2,143千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△524,241千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．第１四半期連結会計期間より、従来の「映画興行事業」から「映画事業」へとセグメントの名称を変更しております。なお、当該変更はセグメントの名称変更のみであり、事業区分の方法に変更はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。